

1. 本日の授業内容

- (1) 電子メールについて
- (2) メールの発信
- (3) メールの受信
- (4) メールの返信

小休止

- (5) E-mailアドレス一覧の受け取り
- (6) クリップボードの活用

小休止

- (7) 宿題

電子メールを使って、前回レポートシステムで提出した自己紹介を送ってください。複数のメールを送った場合は、最後に送ったものを有効とします。個人でプロバイダとの契約を行っている人は、そこからメールを発送してもかまいません。

題名	self-introduction
宛先	kv00994@chiba.ed.cck.dendai.ac.jp
書式	前回の課題の書式に合わせる。
期限	5月14日(金)13:00

- (8) アンケート調査

授業に関する情報は、教育システムのホームページ上で公開します。

[スタート][プログラム][Netscape Navigator]の順にクリックし、[その他のサーバ][D科 授業ページ]の順にクリックすると表示されます。

E-mailアドレス一覧

・「コンピュータ基礎および演習1」担当者

山本 欧(講師)	ou@d.dendai.ac.jp
大井 尚一(教授)	ohi@d.dendai.ac.jp
土肥 紳一(講師)	dohi@chiba.dendai.ac.jp
若井 英夫(助手)	wakai@chiba.dendai.ac.jp
杉本 英幸(院生)	sugimoto@isl.d.dendai.ac.jp
渡邊 広也(院生)	watanabe@isl.d.dendai.ac.jp
伊藤 貴之(院生)	takayuki@isl.d.dendai.ac.jp

・電子工学科1年「平成11年度クラス担任」

大内 幹夫(教授)	ohuchi@d.dendai.ac.jp
田澤 義彦(教授)	tazawa@cck.dendai.ac.jp
山本 欧(講師)	ou@d.dendai.ac.jp

・電子工学科スタッフ

大井 尚一(教授)	ohi@d.dendai.ac.jp
大内 幹夫(教授)	ohuchi@d.dendai.ac.jp
岡田 定久(教授)	okada@d.dendai.ac.jp
柿倉 正義(教授)	kakikura@d.dendai.ac.jp
金田 輝男(教授)	kaneda@d.dendai.ac.jp
川瀬 宏海(教授)	kawase@d.dendai.ac.jp
窪田 忠弘(教授)	kubota@d.dendai.ac.jp
小谷 誠(教授)	kotani@d.dendai.ac.jp
五島 奉文(教授)	gotoh@d.dendai.ac.jp
中村 尚五(教授)	nakamura@d.dendai.ac.jp
藤中 正治(教授)	fujinaka@d.dendai.ac.jp
馬籠 良英(教授)	magome@d.dendai.ac.jp
町 好雄(教授)	machi@d.dendai.ac.jp
六倉 信喜(教授)	mutsu@d.dendai.ac.jp
堀尾 喜彦(助教授)	horio@d.dendai.ac.jp
安達 雅春(講師)	adachi@bes.d.dendai.ac.jp
山本 欧(講師)	ou@d.dendai.ac.jp
田中裕太郎(講師)	tanaka@d.dendai.ac.jp
石井 吉彦(助手)	ishii@ishii.d.dendai.ac.jp
小浜 隆司(助手)	kohama@sp.d.dendai.ac.jp
戸田 匡紀(助手)	toda@chr.d.dendai.ac.jp
佐宗 晃(助手)	sasou@sp.d.dendai.ac.jp
高岡 康之(技師)	takaoka@d.dendai.ac.jp
池内 洋子(秘書)	yoko@d.dendai.ac.jp

「メリッサ」感染拡大

より強力な変種「パパ」出現

緊急で緊都
急ミセ

ウイルスを添付した電子メールを大量に送信し、爆発的な感染力で先月末から

「パパ」も出現、五日には都内で緊急セミナーが開かれるなど騒ぎは続いている。

信者も信じてしまうので「説明すると真剣な表情で聴き入っていた。

米国を中心に被害を広げた「メリッサ」。

セミナーを開いたのはワクチンソフトウェアのトレンドマイクロ社で、出席したのは実際にウイルスに

遭遇した企業のシステム管理者ら。同社担当者が「重要なメッセージ」と話題が

と見られるニュージャージー州のプログラマーを逮捕したが、ウイルスの拡散自体は止まらず、日本でも次々と感染が確認されてい

「当面は注意が必要」と指摘している。

業内でのピンポン感染による再発もあり得るとして

る。さらに、より強力な変種

「パパ」の出現、五日には都内で緊急セミナーが開かれるなど騒ぎは続いている。

「これはだから受メリッサの特徴の一つ

は、わずか数日で何種類もの変種が誕生したことで、

例もあり、米国防総省もコンピュータ緊急対応センターの応援でなんとか軍事ネットへの波及を防いだ。

今度「パパ」が脅威になっている。症状はメリッサに似るが、マイクロソフト社の表計算ソフト「エクセル」形式のファイルで感染。

万一ネットが制御不能となれば、その影響は計り知れない。ソフトウエアコンサルタントの鈴木裕信さんは

送信するメール数は六十通に増え、ウイルス活動中は

「この点でも今までになく悪質であり、ウイルスの転換点と言える」と指摘して

何度でも感染メールを吐き続ける。

最も懸念されているのは、メリッサやパパがネットワーク基盤をマヒさせる威力を持っていることだ。

大量のメール処理がサーバー停止の事態を招く危険がある。米国では一社でたちまち六万台以上に感染した

「この点でも今までになく悪質であり、ウイルスの転換点と言える」と指摘して